

十二月定例会一般質問(抜粋) 子宮頸がん予防ワクチン等の接種費用助成を



中島 宏議員

国の動向も見えてきた中で、子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン及び小児肺炎球菌ワクチン接種費用助成について、どのように取り組むのか伺う。

桜井保健福祉部長 国に定期接種化と自治体への財政支援を働きかけてきた。臨時国会で、子宮頸がん予防ワクチンについては13歳から16歳までの女子、ヒブワクチン及び小児肺炎球菌ワ

クチンについては0歳から4歳までの乳幼児が、自己負担なしで接種できるよう、接種費用の費用助成を行う自治体に国が2分の1を補助する補正予算が成立した。市としては、年度内に、自己負担なしで接種できるよう、今議会に補正予算案を追加提案したい。

・公共交通網の整備充実について
・JR宇都宮駅東口の整備について
・中心市街地のにぎわい創出について
・市長の公約関連について
・自転車のまち宇都宮の推進について
・教育行政について
・土曜日授業の実施について
・小中一貫教育における授業時数増加について
いじめ問題について

十二月定例会一般質問(抜粋) よりきめ細やかな家庭教育支援を



南木清一議員

子育ての悩みを一人で抱えるなど、よりきめ細かな家庭教育支援を必要としている親に対して、家庭教育の立場から市としてどのように取り組もうとしているのか、見解を伺う。

伊藤教育長 子育ての悩みを相談する相手がいない人などに対し、一歩踏み込んだ家庭教育支援が必要。今年度より3年から5年をめぐりに、地域の中で孤立しな

いたための親への細やかな支援や親同士のネットワークづくりをしながら子育て家庭を支える「家庭教育サポート」を各小学校区ごとに配置できるよう、150名を目標に養成していく。

その他の質問項目
市長の政治姿勢について
平成23年度予算について
環境行政について
環境基本計画について
自然エネルギーの活用について
生物多様性保全の推進について

十二月定例会一般質問(抜粋) 市民の救急医療適正受診の促進を



角田和之議員

救急医療に関する市民の意識醸成を図るため、市民の救急医療の適正受診を促進する方策をこれまでにも増して進める必要があると考えるが、市長の見解を伺う。

佐藤市長 平成22年度上半期の救急搬送人員は8,040人で前年同期に比べ751人、10・3%増加しているが、昨年6月に稼働した「二次救急医療体制」に

において円滑に稼働している。しかし、救急搬送人員の約5割が軽症であり、今後「適正な二次救急医療体制」を確保するためには、救急医療に対する市民一人ひとりの理解を深めていくことが必要。「宇都宮市救急医療対策連絡協議会」において、救急医療に関する正しい知識の普及に併せ「標語を活用したポスターの募集」や「市民が医療の現場を見学すること」も有効ではないかとのご意見をいただい

たところであり、適正受診につながるようより効果的な方策を検討していく。

十二月定例会一般質問(抜粋) 岡本駅西土地画整理事業への取り組みは



手塚典雄議員

岡本駅西土地画整理事業について、国庫補助金などの財源確保にどのように取り組んでいるのか。また、区域の東側の地区について、どのように進めようとしているのか、見解を伺う。

佐藤市長 本事業は、合併時の重点事業として位置づけられており、岡本駅周辺の魅力ある拠点形成を図るため、駅西口広場や道路、

公園、下水道など一体的なまちづくりを進めているところ。国の経済対策補正予算においても国庫補助金の追加要望を行うなど、積極的な財源確保に取り組んでいる。また、東側地区については、今年度末より仮換地に向け個別交渉を進めていく。

その他の質問項目
市長の政治姿勢について
中心市街地の活性化について
地上デジタル放送について
子供政策について
産業振興・観光交流について
中心商店街の活性化について
北関東自動車道路を活用した誘客について
農業政策について
戸別所得補償制度について
競争力のある農業づくりについて
教育行政について
学校2学期制について
地域学校園について